

平和記念だより

◆編集・発行：高松市 人権啓発課 高松市平和記念館
◆連絡先：高松市松島町一丁目15番1号
たかまつミライエ5階
TEL:087-833-2211 FAX:087-833-2244



平成30年度 教職員のための平和教育講演会

平成30年12月26日(水)、たかまつミライエ1階多目的室で「教職員のための平和教育講演会」を開催しました。香川県原爆被害者の会事務局長 野本賢さんを講師にお迎えし、「高松空襲の体験から伝えたいこと」と題してご講演いただきました。野本さんは、戦争経験者が高齢化し、その体験を伝えることのできる人が少なくなっていることを危惧されており、積極的に戦争の悲惨さを伝えておられます。



講師：野本 賢さん

年齢を感じさせない、りんとしたお姿で、「高松空襲の焼夷弾が雨のように降り注ぐ中で多くの人々が亡くなったが、自分は運よく生き延びることができた。」とお話されていました。「戦争は残虐であり、二度と繰り返してはいけない。」という思いがあらわれており、参加された先生方も真剣に聞き入っておられました。



実際の映像や体験談を通して、改めて平和学習の大切さを痛感しました。ありがとうございました。(50代 男性)

戦争体験者が少なくなる今だからこそ、未来を生きる子どもたちにぜひ、じっくりと見学させてお話を聞く機会を持ちたいと思いました。(40代 男性)

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

高松市戦争遺品等収蔵品巡回展 <塩江町>

平成31年2月20日(水)～27日(水)まで、塩江支所1階ホールで「戦争遺品等収蔵品巡回展」を開催しました。テレビなどでも報道され、市外から足を運んでくださった方もおられました。

「この真上をB29が飛んで行ったんや。」と、まるで昨日のことのようにお話くださる来場者もおられました。

戦後生まれなので全然知らない。こういった展示会はもっともっと色んな所で開催してほしい。戦争の怖さを思い知らされる。二度とあってはならないと強く思う。(60代 男性)



アンケートにご協力いただきありがとうございました。

「語り部」の会の活動記録

『高松市戦争体験を語り継ぐ語り部の会』では、高松空襲を体験された方などが、香川県内の団体等から依頼を受けて、様々なところで、自らの体験を通して戦争の記憶や教訓、平和の尊さを語る「語り部」活動を行っています。平成30年度は、次のような活動をされています。

(敬称略・50音順)

氏 名	講演などの活動内容
岡田 昌子	7/4 高松空襲跡を歩く会参加者に、六角堂慰霊碑前で慰霊碑の解説 8/25～26 空襲と戦争を記録する会全国連絡会議松山大会にて、「四国と全国の空襲・戦災の記録と継承」というテーマで報告
喜田 清	6/8 協和中1年生を対象に、高松空襲体験談 7/1 読売新聞香川版に喜田の空襲取り組み紹介 7/4 ケーブルテレビにて 7/4 高松空襲当日の様子 7/10 鶴尾中1年生を対象に、高松空襲体験談 7/20 瓦町 FLAG にて、戦争遺品展の解説 7/29 円座町キリスト教会にて、大戦中のハンセン病療養所の人々の戦時体験 8/29 高松医療生協新規採用職員を対象に、高松空襲跡にて説明 8/31 自宅にて、兵庫県のFM放送から、高松空襲体験談の取材を受ける。 11/10～23 昭和館（東京都）から、高松空襲の取材を受ける。 11/20 朝日新聞から、昭和館（東京都）の巡回展・香川の取材を受ける 12/21 高松医療生協の新規採用職員を対象に、高松空襲体験談
小西 弘和	2/1 木太南小5年生を対象に、戦時下での出生、疎開、空襲、引揚げの体験談
浄土 卓也	6/15 多肥小6年生を対象に、高松空襲概要紹介 6/19 浅野小6年生を対象に、高松空襲概要紹介 7/9 塩江中1年生を対象に、高松空襲概要紹介 7/13 栗林幼稚園年長組を対象に、「青い目の人形の運命」 7/13 栗林小6年生を対象に、高松空襲概要紹介 8/2 たかまつミライエにて小学生と保護者に、「青い目の人形の運命」 8/18 アイパル香川にて「香川における朝鮮人強制連行・徴用労働について」 9/21 高松一高2年生のクラスを対象に、アジア・太平洋戦争の実相 10/19 川添小6年生を対象に、高松空襲概要紹介 10/29 太田小6年生を対象に、高松空襲概要紹介 11/20 仏生山小6年生を対象に、高松空襲概要紹介 12/10 川東小6年生を対象に、高松空襲概要紹介 12/14 桜井高2年生の三クラスを対象に、アジア・太平洋戦争の実相 12/20 亀阜小6年生を対象に、高松空襲概要紹介 2/28 綾川町立滝宮小6年生を対象に、高松空襲概要紹介
戸祭 恭子	8/29、12/21 香川県民医連の入職2年目職員を対象に、高松空襲跡地を巡りながら高松空襲体験談

平成31(2019)年度 前期 行事予定

5月

● 平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭

5月18日(土)

場 所 たかまつミライエ 1階多目的室

内 容 講演 終戦1週間前の瀬戸内海での悲劇「女神丸事件」

映画上映 「いつまた、君と」(下記参照)

6・7月

● 高松空襲写真展

6月28日(金)～7月8日(月)

場 所 高松市平和記念館 映像学習室

展示内容 高松空襲直後の被災写真・パネル・絵画

● 高松市戦争遺品展

7月20日(土)～7月26日(金)

場 所 瓦町FLAG2階コンコース

展示内容 高松空襲と戦争に関する写真・パネル・資料

8月

● 高松戦災・原爆写真展(願う会・高松市の共催)

8月8日(木)～8月14日(水)

場 所 IKÔDE 瓦町 展示コーナー(瓦町FLAG8階)

展示内容 原爆被災写真パネル・ポスターなど



いつまた、君と

ホーリージュンザイライ

～何日君再来～

向井 理の祖母の半生を映画化

主演 向井 理×尾野 真千子

親から子、子から孫へと受け継がれる、ある家族の「愛の実話」

● あらすじ

81歳になった芦村朋子は、不慣れな手つきでパソコンに向かい、亡くなった夫・吾郎との思い出を手記として記録していた。その文面からは亡くなった夫への愛情が溢れていた。しかし、朋子は突然倒れてしまい代わりに孫の理が手記をまとめることになる。

手記に綴られていたのは、いままで知ることのなかった祖母と祖父の波乱の歴史と深い絆で結ばれた夫婦と家族の愛の物語だった。

その中ではじめて語られる朋子の子どもたちへの思いが。進路に悩んでいた理、そして朋子に対してずっとわだかまりを抱いていた娘・真美の心に変化をもたらしていく。



収蔵品紹介 61 《最近の収蔵品より》

信号ラッパ曲集（提供者 多田 義子 様）

提供者のお母さんが、教え子から寄贈されたこのラッパ曲集を音楽の指導に活かしていた。

軍隊では、ふつうラッパといえは信号ラッパのことである。音階も音量も調節部品がないため、吹き手の口先一つで音色が変わり、遠方まで響き、騒音の中でも聞き取ることができる。

「起きるも寝るも皆ラッパ」と言われたように、軍隊生活は起床から消灯までラッパの音と共に過ごし、ラッパ譜に歌詞をつけて口ずさまれるほど親しまれた。当時は、西洋の音階になじみがなかったので、吹き方は「タチツテト」を使って音を出しやすいタンギングを示し、「ド・ト・タ・テ・チ」と説明した。



左側のラッパ譜「食事」は帝国陸軍のラッパを社章（「ラッパのマーク」）とする大幸薬品の正露丸のCMで使用された。

ラッパ譜「突撃」は通称「突撃ラッパ」として広く知られている。

編集メモ

核兵器禁止条約の採択、核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）のノーベル平和賞受賞、朝鮮半島における非核化の動きなど、現在、核をめぐる状況が大きく変動しています。

高松市が加盟する「平和首長会議」では、「核兵器禁止条約」の早期締結を目指す署名活動に取り組んでおり、平和記念館では、当館のHPから電子署名ができるよう「平和首長会議」のHPにリンクを貼り付けているほか、館内に署名用紙を設置するなどしています。皆さまの御協力をお願いします。

また、当館では、昨年11月より、開館日の土・日・祝日に映像学習室で「平和映画上映会」を開催しています。上映開始時間は午前11時と午後2時の2回、上映作品は毎月変更しています。

ぜひ、当館の大画面で迫力ある映像をご覧ください。

高松市平和記念館 開館時間：9時～17時 休館日：毎週火曜日 入館料：無料

- お知らせ 改元に伴う大型連休中（10連休中）における平和記念館の開館状況について
大型連休中に多くの市民の皆さまに利用していただくため、4月30日（火）は臨時に開館し、5月8日（水）を振替の臨時休館としております。大型連休中に休館日はありませんので、皆さまのご来館をお待ちしております。

▼ホームページアドレス（平和啓発の推進事業がご覧いただけます）

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shinotorikumi/jinken/keihatsu/heiwa/index.html>